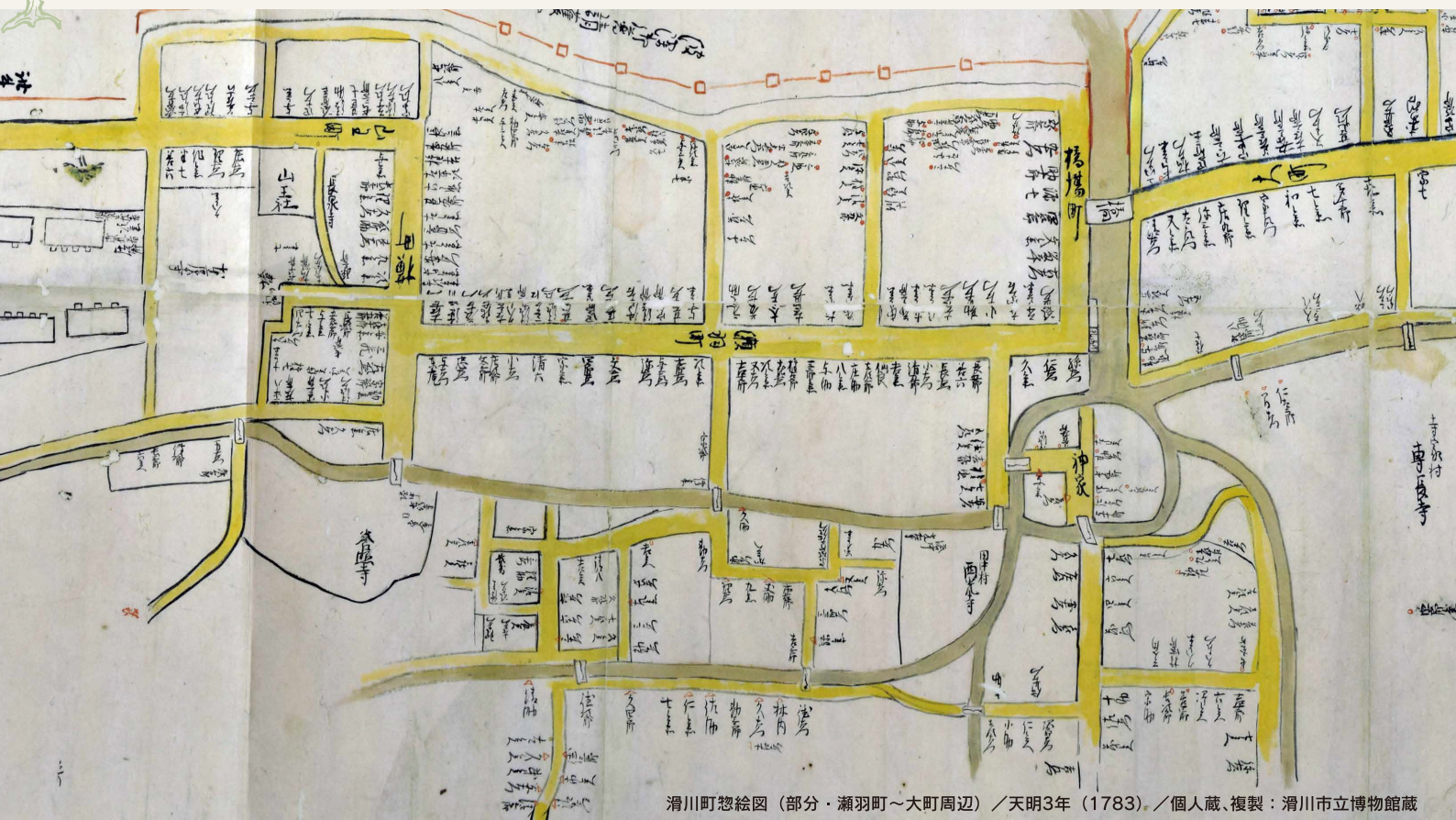


北国街道をゆく

～絵図に見る江戸時代の新川の町・村の姿～



滑川町惣絵図（部分・瀬羽町～大町周辺）／天明3年（1783）／個人蔵、複製：滑川市立博物館蔵

令和4年（2022）

11/12 土 ▶ 12/25 日

入場
無料

■会場
滑川市立博物館 3階

■開館時間
午前10時～午後6時
※入館は午後5時30分まで

■休館日
毎週月曜日、11月24日（木）

記念講演会 11/20 日 午後2時～

「道中記に見る
北国街道の旅」

鈴木景二さん（富山大学教授）

事前申込者優先／先着順／参加無料（定員30名）

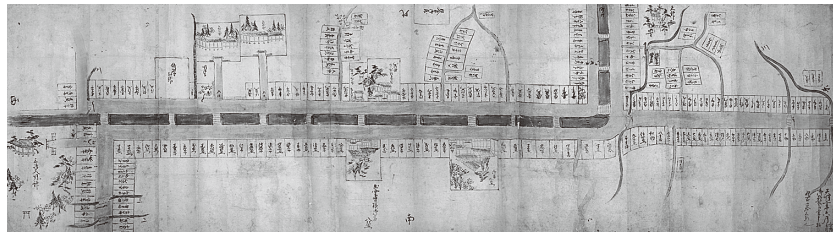


上下新川郡一町五厘略図（部分）／天保10年（1839）／富山県立図書館蔵 に加筆

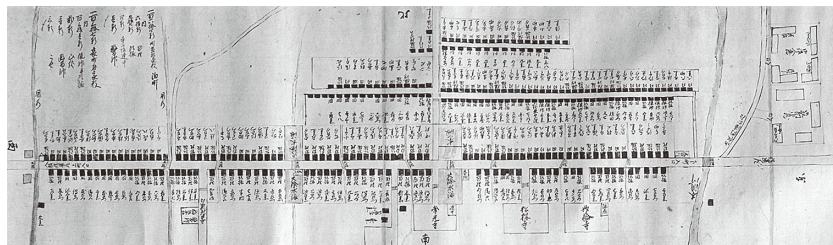
北国街道をゆく ～絵図に見る江戸時代の 新川の町・村の姿～

絵図とは、一言で表せば現代の地図にあたります。日本では古代・中世から絵図が作られてきましたが、広く普及したのは江戸時代のことです。幕府が諸大名に命じて作成させた国絵図や城絵図、各地域の支配や管理等のために描かれた城下絵図や郡絵図・町村絵図、旅人たちに利用された街道絵図など、実に多種多様な絵図が存在していました。

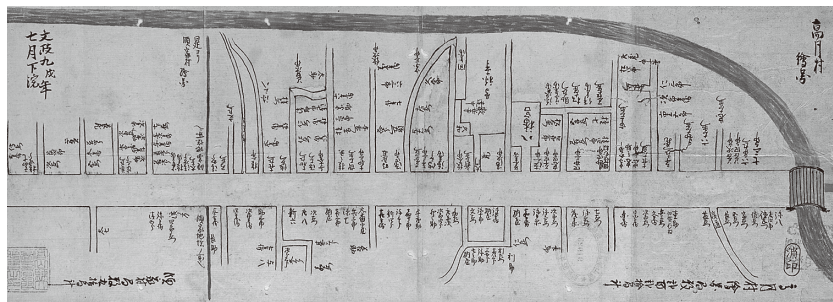
本展では、北国街道（北陸道）の宿場町として栄えた滑川町、街道沿いの立地のため町場化した高月村など、現在の滑川市域の町村とともに、東岩瀬（現富山市）から境関所（現朝日町）までの加賀藩領新川地域の宿場町や在郷町など15町村の様子を絵図を通じてご紹介します。博物館で江戸時代の新川地域の町や村へタイムトリップ！



三日市駅宿並絵図／天明2年（1782）／個人蔵



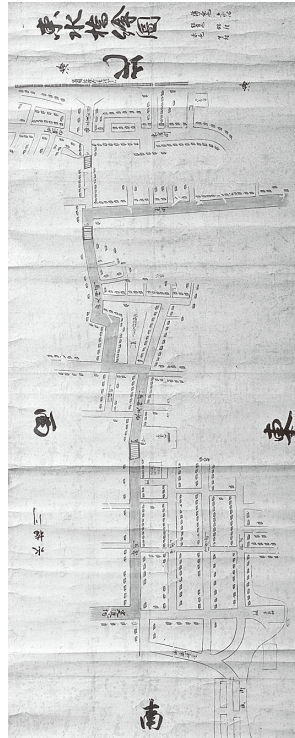
泊町新屋敷替絵図／享保3年（1718）／個人蔵



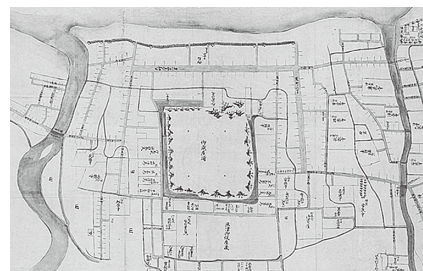
高月村絵図／文政9年（1826）／富山県立図書館蔵



東岩瀬絵図／文政11年（1828）／富山県立図書館蔵



東水橋絵図／文化4年（1807）／富山市教育委員会蔵



越中津津町之図／嘉永元年（1848）／石川県立図書館蔵「森田文庫」

記念講演会

「道中記に見る北国街道の旅」

鈴木景二さん（富山大学教授）

定員
30名



申し込みフォーム

展示解説会

11月13日(日)・11月26日(土)
12月 3日(土)・12月25日(日)

各回定員
15名

※いずれも午前11時～、午後2時～ 事前申込者優先／先着順／参加無料

■公共交通機関

あいの風とやま鉄道（滑川駅）・富山地方鉄道（滑川駅／中滑川駅）からコミュニティバス（のるmycar）（大日・室山ルート）で約20分、「博物館前」下車すぐ

■自動車

北陸自動車道・滑川インターチェンジから約3分、国道8号線・稲泉交差点から約7分

問い合わせ・申し込み先



滑川市立博物館

〒936-0835 富山県滑川市開676

博物館HP TEL: 076-474-9200 FAX: 076-474-9201 Mail: hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp



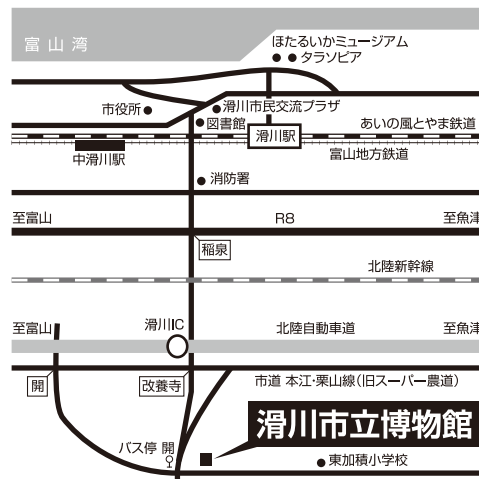
Facebook



ミュージアムカフェ
10時～15時



Twitter



ご来館の際は、新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力ください。